



令和4年度
第7回
横浜市立大口台小学校
学校運営協議会

《日 時》 令和5年2月24日（金） 16:00～

《場 所》 横浜市立大口台小学校 1階 家庭科室

<会次第>

- | | | |
|---|---------------------|--------------------|
| | 《進 行》 | 副校長 川島 和祐 |
| 1 | 校長挨拶 | 校 長 平原 智美 |
| 2 | 委員長挨拶 | 委員長 石渡 祥男 |
| 3 | 令和4年度の報告 | |
| | (1) 令和4年度の学校経営について | 平 原 校長 |
| | (2) 大口台小学校重点研究について | 和 田 教諭【研究主任】 |
| | (3) いじめ防止対策委員会報告 | 三 田 主幹教諭【児童支援専任】 |
| | (4) 学校評価アンケート結果報告 | 三 田 主幹教諭【児童支援専任】 |
| | (5) 学校評価報告書 | 山 本 主幹教諭【教務主任】 |
| | (6) 学校の様子 | 川 島 副校長 |
| | (7) 学校地域協働活動事業報告 | 岡 井 【学校地域コーディネーター】 |
| | | 山 本 【学校地域コーディネーター】 |
| | (8) 令和5年度学校行事予定について | 山 本 主幹教諭【教務主任】 |
| 4 | 意見交換 | |
| 5 | 閉会 | 副校長 川島 和祐 |

1 令和4年度の学校経営について

今年度もコロナ禍が続き、感染防止対策を講じながら教育活動を進めてきました。前年度より、緩和できた部分も多く、校外学習も予定通り進めることができました。特に宿泊体験学習は4年生から6年生まで実施できることになり、小学校生活で初めての宿泊行事になり、子どもたちは貴重な時間になりました。6年生は国会議事堂や科学博物館の見学もできました。スポーツフェスティバルは色別対抗リレーの種目を増やし、3年ぶりに全校で行うことができました。また、土曜日開催にしたため、保護者の方も大勢来校されました。

教職員は横浜市教育委員会より準備されていたタブレット端末を自由に活用して子どもたちの意欲関心を高める学習を進めました。また、子どもたちは授業でタブレットのロイロノートを日常的に使いこなせるようになり、いろいろな活用の方法を選択して、主体的に使用できるようになりました。

今年度は音楽会も学年ごとに行い、全校で視聴する時間を設けて、学年ごとのよさを見つけることができました。保護者の皆様にも参観していただき、子どもたちの合唱や合奏を見ていただき、子どもたちの成長ぶりを披露しました。校内作品展も行い、今年は地域の素晴らしい作品を展示することができました。

3年生は、3年ぶりにお店体験ができ、社会を学ぶことができました。大口通り商店街の方々が協力してくださり、保護者の方々も見守りながら買い物に来てくださいました。

二酸化炭素測定器モニターを全校で設置し、換気の様子分かるようになりました。教職員は部屋の中の二酸化炭素濃度が、1000ppm以上にならないよう気を付けて換気をし、感染対策を行っています。

学校から必要なことや変更などを知らせるために、メール配信やホームページを積極的に活用しました。今後も学校、家庭、地域と情報を共有して、ご理解・ご協力を得ながら教育活動を進めていきたいと思っています。

○ 令和4年入学式

新型コロナウイルスの感染防止対策を講じて、全ての教職員で1年生を迎えました。保護者の出席は1名と学校運営協議会の委員の皆様で、それぞれ間隔を十分に取り、座席指定をして入場していただきました。

○ 学年指導体制

教科や学習内容によって担任が入れ替わって授業しました。全学年で「教科分担制」を行いました。特に4年生～6年生で教科担任制を強化し、複数の教職員が子どもの指導を行うことで、多様化する子どもが安心して学校に登校できる環境づくりに努めました。複数の教職員で密に情報共有を行いました。(砂時計ノートに記録する。)

○ 安心・安全なまちづくり、学校づくり

安全・防犯・防災に関して、PTAスクールゾーン対策協議会を、7月14日(木)に開催しました。PTA 校外委員さんの通学路の安全点検報告、補修箇所の指摘を受け、関係機関が改善作業を進めています。(スクールゾーン標示の新設、外壁の修繕、排水溝の蓋の設置など)

来年度、一部登校ルートを変更する予定です。

○ 学習環境整備

引き続き学校施設改修・改善に努めました。特別支援教室「スマイル」や「ドリーム」の充実も図ることができました。安全に配慮し草木の剪定を行いました。コロナやインフルエンザの感染対策のために、こまめに消毒や換気を行いました。さらに、1月から二酸化炭素濃度測定器モニターを活用して、換気に注意しました。健康観察も十分に行ってきました。保護者もよく連絡をくださり、感謝しています。

○ スポーツフェスティバルの開催 10月22日(土)児童はお弁当持参

4色に分けて、午前中全校で実施し、5時間目は教室で振り返りを行いました。種目は色別対応リレーを加えました。児童の保護者2名参観で徹底しました。学年ごとに色別のリストバンドをPTAの役員さんが作って配付しました。また、学校運営協議会の方々に参観していただきました。受付は、PTAの本部役員にお願いしました。校庭のライン引きや片付け等は学校・地域コーディネーターの方々に手伝いしていただきました。徒競走では全学年一人ひとりについて校長がコースを伝え、呼名しました。

○ 1年生から3年生の遠足実施

貸し切りバスで移動し、車内が密にならないよう対策をして、遠足を実施しました。行先は1年生が11月11日「野毛山動物園」、2年生が10月28日「よこはまズーラシア」、3年生が11月1日「みなとみらいランドマーク方面」でした。

○ 4年生から6年生の宿泊体験学習実施

4年生と5年生は貸し切りバスで移動し、車内が密にならないよう対策をして実施しました。4年生は6月7日から1泊2日「愛川ふれあいの村」で宮ヶ瀬ダムの放水見学、キャンドルファイヤーなどを体験しました。5年生は9月14日から1泊2日「三浦半島」で収穫体験や海での体験をしました。6年生は7月11日から1泊2日「日光修学旅行」で、華嚴の滝や東照宮などの見学、ハイキングや日光彫を体験しました。

○ 令和4年度卒業式 3月17日(金)

制限が緩和されたので、式典の参加は児童の保護者2名、教職員、学校運営協議会の皆様です。

○ 授業づくり

今年度の研究テーマは「自己肯定感をもてる子どもの育成」で、自己肯定感を育む方法や自己肯定感の高まりを捉えていく方法について教職員で共通理解して、ひとりも取り残されないように、持続可能なカリキュラムマネジメントを研究しています。特に今年度重点を置いて研究したのは、体育、算数です。子どもが何を学ぶのか单元ごと明確にし、学習計画を立てています。横浜市の教育ビジョン2030に掲げてあるように横浜の教育は「子どもが主体的に考え、学び続け、多様な人々や社会と関わり合うこと」を大切にしています。本校も横浜版学習指導要領の「総則」に示されている「主体的・対話的で深い学び」を目指して、人権尊重の教育を基盤にて授業改善を行い、教師の授業力向上に繋がりたいと思っています。児童の個別に対応する特別支援も積極的に行っています。外国語活動として1年生からアシスタントイングリッシュティーチャーと一緒に英語でコミュニケーションをとる授業が行われています。(国で定められた授業時間数は確保しています。)

○ 働き方改革(学校教育の質を高められるような改善)

働き方改革プロジェクトチームを発足し、教職員のよさと課題について考え、教職員の働き方改革につなげられるよう小さなことから積み上げるようにしました。今年度は職員室の棚の整理をしました。また、教職員の打合せを月曜日に設定しました。週始めに行うことで行事や活動の見通しを共有できるようにしました。さらに、会議等を火曜日に設定しました。月曜日に資料等の準備ができるようになり、休日に出勤がなくなることがねらいです。休日は教職員にゆっくり休んでストレス解消に繋げてほしいです。朝会・集会・重点研究を金曜日にしました。金曜日は5校時とし、教職員の研究・研修や授業準備に活用しました。

年間計画と連携した「週案・月予定」や職員室のグループウェア「ミライム」の積極的な活用を進め、業務の見える化やペーパーレスを図っています。誰が(どの学年が)どのような活動をどこで何時から行うのか各自のパソコンや大型モニターに表示されます。全学年で「教科分担制」を行い、教材の準備の効率化にもつながり、授業の充実を図りました。

職員室業務アシスタントや非常勤職員の配置や確保を引き続き積極的に行って、教職員の負担を軽減していきます。

○ 幼保小連携実践報告

1年生の児童が年長の園児との交流を通して、自己肯定感を高められる活動を可能な限り計画的に実施しました。園児が小学校での学習活動を共有し、小学校に入学する接続が円滑になるよう努めました。神奈川区の幼保小連携推進代表校2年目として大口台地区事業実践報告を子ども青少年局に提出しました。

大口台小学校ブロックの交流

【交流園】

松見保育園、銀嶺幼稚園

【実施内容】

〈子どもの交流〉 動画による音読劇発表会(7月)、運動会練習見学(10月)、校内作品展出品・見学(12月)
新春かるた大会・学校生活の紹介、校内見学(1月)
生活科で育てたあさがおの種と手紙を年長さんにプレゼントの予定(2月ころ)
〈職員の連携〉 小学校授業参観(6月)、保育参観(7月)、職員研修会(8月)



運動会練習の様子を見学

「自分たちだけで並べるなんて、1年生ってすごい!」
「入学したら、ぼくたちも、こんなふうに練習するんだね。」

運動会練習の様子を見学することによって、小学校での活動の様子が分かりました。

「ここが図書室っていうんだよ。本がたくさんあるよ。入学したら、たくさん本を読もうね。」

1年生が校内を案内しながら、園児たちにそれぞれの教室についての説明をしました。



校内見学

保育園の1年間の生活について、詳しく教えて頂きました。

また、年長の園児が小学校について学んでから入学していることが分かり、1年生担任として、新1年生へのかかり方がよく分かりました。



職員研修会

【ふりかえり】

小学校、保育園で行っている活動が互いによく分かりました。1年生は、園児のお世話をする活動の中で、心が育ち、年下の子には思いやりをもって接することの大切さを学びました。保育園の子どもたちにとっては、何回か小学校に来ることによって、小学校の様子を知ることができ、安心感を得ることに繋がりました。

○ 小中連携交流会…SDGs研修会実施

中1ギャップを解消するために、中学校の生活をビデオに収めたものを6年生が視聴しました。小中学校の職員間では夏にSDGsの研修会を行い、印刷会社のSDGsの取組を参考に小学校と中学校で連携してできるSDGsを考えました。

■ 地域と連携した学校教育活動について

地域の皆様や地域学校協働本部の皆様にご支援やご協力いただいて教育活動が充実していることや毎朝の見守り隊の方々に子どもたちが見守られて、安全に登校ができていることにとっても感謝しております。引き続き、来年度もよろしくお願いいたします。

今年度は、地域学校協働本部の方に周年記念式に卒業生のお話の方を幹旋していただいたり、1年生の給食補助のエプロン先生や本の読み聞かせの図書ボランティアを募っていただいたりして支援していただきました。また、スポーツフェスティバルの当日準備や片付けをお手伝いしていただきました。3, 4年生は人権教育[CAP]の学習、3年生は大口通り商店街でお店体験をさせていただきました。2年生と4年生は盲特別支援学校の先生にご協力いただき、点字の学習をしました。12月の人権週間の全校朝会の時に盲特別支援学校の副校長先生より人権教育のお話や点字のお話をしていただきました。コロナ禍でもできることを増やせた1年でした。

- ・ 学校と地域が連携・協働して一体となって子どもを育てる仕組み
- ・ 学校と目標やビジョンを共有した応援団

大口台の地域の力と学校教育の一体化を目指します

- ・「学校運営の基本方針」の承認
- ・「連携・協働活動」を協議
- ・「学校関係者評価」の実施
- ・学校教育目標を理解
- ・地域と学校をつなぐ
- “子どもを育てる”視点

学校運営協議会の役割

役割が広く多くなる
学校運営のPDCAサイクル全体にかかわる

委員の役割

目標を共有して教育の当事者となる
責任感と自覚が違う

○ 学校運営協議会設置校として3年目

- ・ 学校を支える仕組みの強化
地域・保護者のみなさんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。

- ・ 委員構成…15名まで(①②③立場の異なる構成) 代理出席者はなし
 - ① 地域住民
連合町内会長、地域防災担当、放課後キッズクラブ、主任児童委員・民生委員等
 - ② 保護者代表
PTA 会長
 - ③ 学識経験者
神奈川中学校長、盲特別支援学校長、外部有識者
- ・ 本校では、構成する委員の素地はある。
- ・ 本校では、協議会としての機能がすでに働いている。
地 域…学校地域コーディネーター、エプロン先生、ふれあい給食会、大口通商店街
保護者…図書ボランティア

○ 地域学校協働本部地域学校協働本部…地域と学校をつなぐ具体の姿

- ① 学習支援
エプロン先生[低学年;給食支援]実習支援(家庭科、書写、水泳、音楽、図工等)
図書ボランティア クラブ活動支援 アシスタントティーチャー等
- ② 安全支援
登下校安全指導(見守り隊) 学校環境整備等
- ③ 地域連携支援
学校・地域防災(総合防災、避難所等) 情操教育(合唱部の地域行事参加等)
福祉教育(盲特別支援学校との交流ふれあい活動、ふれあい給食)
地域行事(地域交流まつり、神奈川中ふれあいコンサート等)
キャリア教育・環境教育等の講師依頼等

■ 地域学校協働活動事業について

未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校・家庭・地域が連携・協働し社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的とします。

この本部の業務は、地域学校協働活動事業の実施に関して必要な業務全般です。

「地域学校協働本部」は既存の地域と学校の連携体制をもとにして、地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域のみなさんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。

○ 学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の配置

学校とボランティアの連絡調整、学校と地域をつなぐ事業の企画や運営等の中心となる人材として、教育委員会が開催する養成講座を修了した学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を配置。(本校では、岡井委員、山本委員)

○ 地域学校協働本部の設置継続

今年度は委員長、庶務、会計の担当と役割分担を決めました。学校、地域、保護者、ボランティア、学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)、自治会町内会や区民利用施設の関係者等で組織し、学校支援の内容について検討を行うとともに必要な事務経理を行うこと。(本校では、従前より活動の実態があります)

○ **学校支援ボランティア活動の実施**

地域住民や保護者が、ボランティアとして地域学校協働を行う体制を整備し、地域学校協働活動を実施すること。

○ **地域、関係機関との連携・協働**

地域、関係機関等で連携・協働して事業を進めること。

○ **広報啓発活動**

地域の教育力の向上に資するための啓発活動や、学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の認知度を広く高めるための広報活動を行うこと。

○ **研修会への参加及び活動報告会での実施内容の報告**

教育委員会が開催する研修会に参加すること。また、活動報告会において活動状況の報告・展示等を行い、本事業に関する情報提供を行うこと。

○ **事業報告書の作成**

指定様式の事業報告書を作成し、教育委員会へ令和5年3月10日必着にて提出する予定。

2 令和4年度 大口台小学校重点研究について

1 研究テーマ

自己肯定感をもてる子どもの育成 ～教師の支援と授業のあり方～

学校教育目標「わくわくトライ 大口台」

自ら進んで学び続ける子・・・知
相手を思いやり、自分を大切にできる子・・・徳
心身ともに健康でたくましく生きる子・・・体
人やまちとのつながりを大切にし、ともに未来をつくる子・・・公、開

小中一貫教育の取組

〈課題解決力〉〈自尊感情〉〈コミュニケーション〉

- ・ 目指す資質・能力を基盤に、学習への積極的な参加、適切な言語表現、確実な知識・技能の定着を図る。
- ・ 礼儀や規範意識を身につけ、自他へ思いやり、やさしさを行動に表せるようにする。
- ・ 地域に暮らす者として、自覚と責任のある行動と感謝の気持ちをもてるようにする。

2 研究テーマ及びサブテーマ、教科設定の理由

本校は、上記の学校教育目標のもと、4つの子ども像を掲げ、様々な教育活動を行っている。また、神奈川中学校ブロックの取組として3つの視点を持ち、子どもの育成に関わってきた。学校教育目標に掲げる子どもの姿の実現には、自己肯定感が子どもの根底にあることが必要であると考えている。

研究テーマに掲げる「自己肯定感」はあらゆる教育活動の中で育まれるものであるが、重点研究で取り上げることで、自己肯定感を育む方法、そしてその自己肯定感の高まりをとらえていく方法について教職員で共通理解し、学校全体で子どもの成長を支えられるようにしていきたい。

本校の研究では、子ども一人ひとりが自分自身を大切だと感じ、自らを肯定的に捉えることを目指していく。また、自分を見つめ、自分のよさを認められるようにすることで、自己を満ちし、他者を肯定的にとらえられるようにしていきたい。今までの、自己肯定感のとらえを基に、子どもたちがよりよく学べるように研究を進めていく。

自己肯定感をもてる子どもの育成を目指していくが、なかでも、3つの視点に基づいた手立てから自己肯定感を高めるための支援のあり方、授業・単元展開の流れ（型）について議論を重ねていく。教師が適切な手立てを施すことで、子どもの「学校って、楽しい！好き！」「わかった！友達と教え合える！みんなと楽しみを共有できる！」「苦手でもアドバイスできた！聞いてもらえた！授業中に居場所がある！」を演出することで、いきいきと授業参加でき、自己肯定感をもてるようにしていく。

3 本年度の実践について

- ①本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために数を減らしていた重点研究日を増やした。1人1回ずつ授業公開を行うことで、「自己肯定感をもてる子どもの育成」をテーマに全職員で授業づくり、人材育成の視点を持ち、研究を進めた。

②算数科と体育科の授業を重点研究教科として、重点研究を行った。

③全校に配備されたタブレット端末の使用について研究を進めた。

4 実践の具体について

①研究授業について

本年度は各担任並びに音楽専科、算数専科が研究授業を行った。一昨年から取り組んできた「授業プラン検討」をコロナ禍以前に行っていた「指導案検討」の形態に戻したことで、授業プラン検討時よりも具体的な指導の仕方について討議、検討することができた。指導案検討では、低学年ブロック、高学年ブロックに分かれて、授業で使う教材の学習効果を検証したり、場の有効性や声掛けのポイントを整理したりすることで、授業のゴールを意識した単元計画を作ることができた。本校の研究会は「わくわくワークショップ」という名称で、教員同士が忌憚のない意見を伝え合える環境を意識して作っている。子ども達にとってよりよい学びになるよう指導の視点を絞り、授業者の課題を明確にして協議してきた。

研究会での話し合いのまとめ



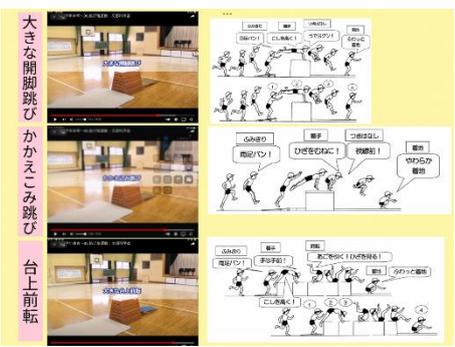
②タブレット端末の活用について

昨年度より全校児童に一台ずつタブレット端末が配布され、本格的に運用していくこととなった。発達段階に応じて、活用の仕方は様々であるが、多くの学級で見られたのが課題の共有とワークシートの配付であった。社会の調べ学習などではパソコン室に行ったり、図書室の資料を活用したりすることが多かったが、ネット環境も整備されたおかげで、調査の時間短縮や児童の興味に応じて学び進めることができるなど、良い面が見られた。その反面、個人情報の保護についての意識を高めていかなければならないなど課題も見られた。また、昨年度はふりかえりをタブレット端末の機能を使って行っていたが、1年生から6年生まで一様にタブレット端末で行うことが必ずしも効果的とは言えず、発達段階によっては連絡帳等の紙媒体に書く方が高い効果を得ることができることも分かった。

図画工作の授業では、作品をロイロノート上に動画で提出し、クラスで共有をした。友達の仕事を見られるだけでなく、成果物を蓄積する役目もあった。



体育の跳び箱の授業では技のポイントを連続図で提示するだけでなく、動画も視聴できるようなワークシートを作成した。自分の技と手本を比べ、学び進める姿が見られた。



3 令和4年度 大口台小学校いじめ防止対策委員会報告

月日	取組内容	
4月6日(水)	○いじめ防止基本方針について全職員で共通理解 ○児童の情報について各学年で引継ぎ 第1回いじめ防止対策委員会 ○年間計画と重点指導内容の確認・引継ぎ、いじめの定義の確認	
4月15日(金)	いじめ防止対策委員会	・情報共有 ・支援策検討
5月12日(木) 5月13日(金)	○保護者教育相談	・実態把握
5月19日(木)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
6月14日(火)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
6月24日(金)	○子どもの社会的スキル横浜プログラムによる学校生活アンケート実施	・実態把握
7月4日(月) 7月5日(火) 7月7日(木) 7月8日(金) 7月11日(月)	○個人面談	・実態把握
7月14日(木)	いじめ防止対策委員会	・情報共有 ・支援策検討
7月21日(木)	○Y-P研修 支援検討会	・集約結果をもとに児童の実態に応じた支援を検討
8月30日(火)	○横浜子ども会議(中学校ブロックでの話し合い)	
9月12日(月)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
10月11日(火)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
10月24日(月) ~27日(木)	○いじめアンケート実施	・実態把握 ・具体的な対応策の検討 ・課題と成果の洗い出し
11月15日(火)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
11月4日(金) ~24日(木)	○アンケートについて児童一人一人に担任が聞き取り	・実態把握 ・支援策検討
12月	○いじめ解決一斉キャンペーン(人権週間)	・取組を学校だよりで

	各学年で人権教育を実施	発信
12月8日(木) 12月9日(金) 12月12日(月) 12月13日(火) 12月15日(木)	○個人面談	・実態把握
1月12日(木)	いじめ防止対策委員会 定例会 ○いじめアンケートの結果・本校の傾向の分析・	・情報共有 ・支援策検討
1月24日(月)～	○子どもの社会的スキル横浜プログラム(Y-P)による学校生活アンケート実施	・実態把握
1月30日(金)	いじめ防止対策委員会	・情報共有 ・支援策検討
2月10日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会 ○来年度に向けての取組検討	・情報共有 ・支援策検討
2月28日(火)	○Y-P研修 支援検討会(予定)	・課題と成果の洗い出し ・来年度への引継準備
3月10日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会(予定)	・情報共有 ・支援策検討

< いじめアンケート結果から >

★R4 11月アンケートの傾向

①自分の気持ちを適切に表現することができず、端的な暴言・ハンドサインや暴力で示してしまう。放課後のゲームやドッジボールなどで何気なく使っている言葉が日常の会話でも頻繁に出て、自分はそのままで思っていなくても、受け止める側には傷になっている。

②SNSで安易に自分の気持ちを暴言で表現し、相手を傷つけてしまっていることに気づかない。
適切な方法で使用できていない。

③友達の失敗などを寛容に受け止めることができず、笑うなど、相手への思いやりの気持ちのかけた態度がトラブルにつながっている。

④勝手な思い込みで相手のことを決めつけて、トラブルに発展している。(にらんでくる・言われたような気がする・・・など)

< 学校としての対応の方針 >

○自己表現力の不足を補う活動をする。(語彙を増やす・自己表現の仕方について学習する、など)

○トラブルが起きた場合に、自分や友達の言動について大人が整理してあげて、客観的に見られるようにする。

○攻撃性が優先される子どもには、ちょっと我慢するというスキルの大切さを個別に投げかける。

○防犯教室を開催し、暴力は社会的にも許されないことを確認する場を設ける。(4・5・6年)

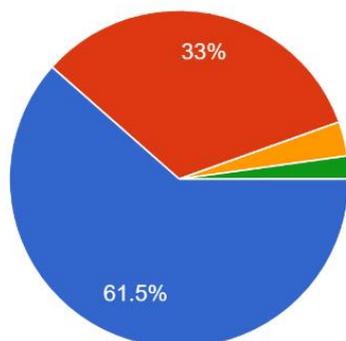
○来年度は、SNSの出前講座を依頼する。

○ぱれっととの連携を呼びかける。(呼びつけ・乱暴な言葉遣いも含め)

2022年度 大口台小学校 学校評価アンケート 結果
【児童】

学習した内容を理解している。

91 件の回答

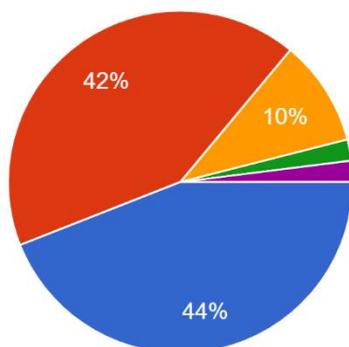


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

【保護者】

お子さんは学習した内容を理解している。

100 件の回答

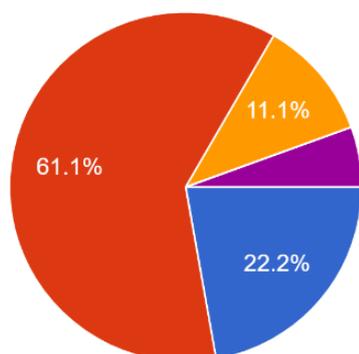


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【教職員】

子どもは学習した内容を理解している。

18 件の回答

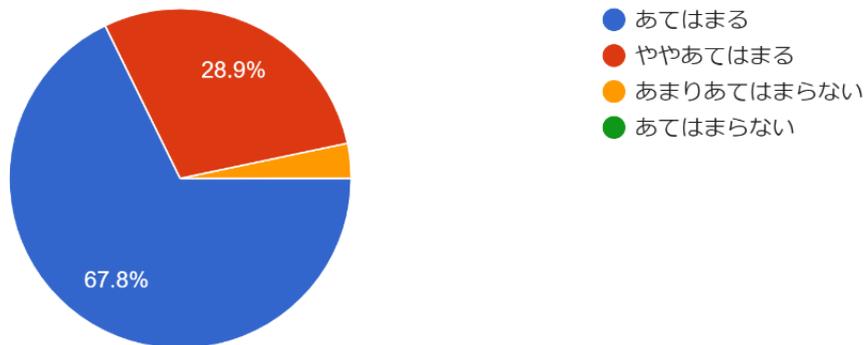


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【児童】

自分は友達や教員、地域の人に進んであいさつをしている。

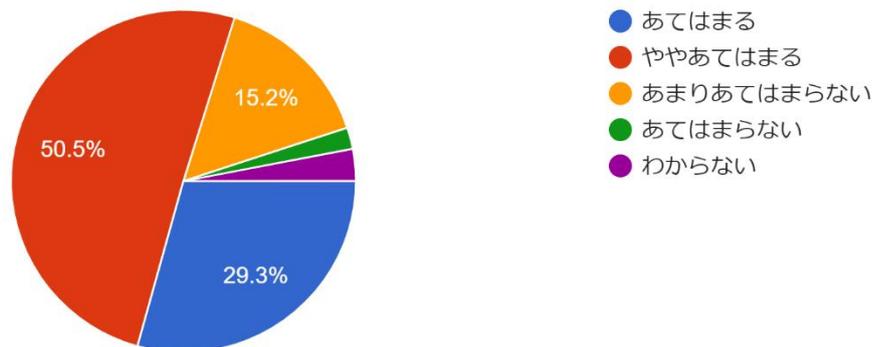
90 件の回答



【保護者】

お子さんは友達や教員、地域の人に進んであいさつをしている。

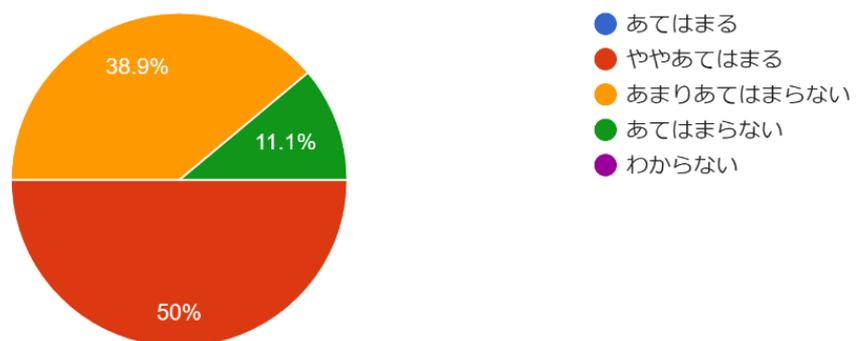
99 件の回答



【教職員】

子どもは友だちや教員、地域の人に進んであいさつをしている。

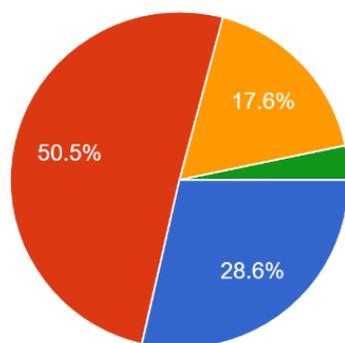
18 件の回答



【児童】

自分は適切な言葉遣いをしている。

91 件の回答

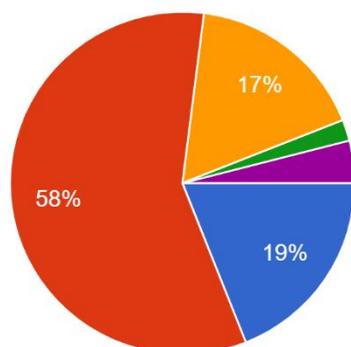


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

【保護者】

お子さんは適切な言葉遣いをしている。

100 件の回答

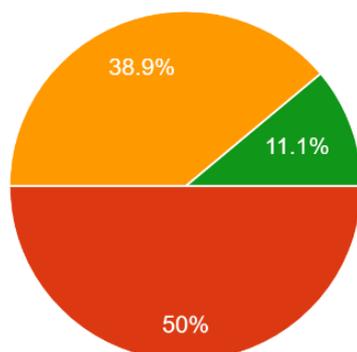


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【教職員】

子どもは適切な言葉遣いをしている。

18 件の回答

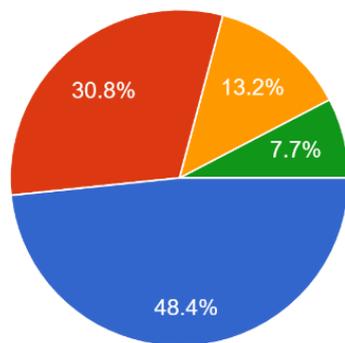


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【児童】

去年に比べて、運動の機会が増えた。

91 件の回答

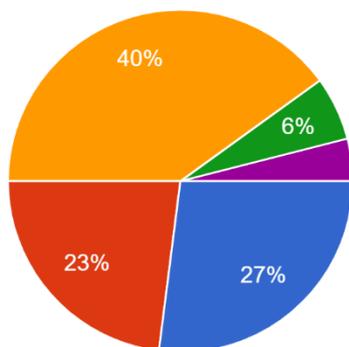


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

【保護者】

去年に比べて、お子さんは運動の機会が増えた。

100 件の回答

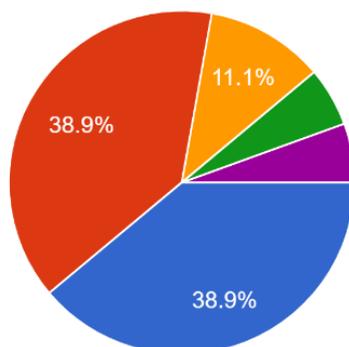


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【教職員】

去年に比べて、子どもは運動の機会が増えた。

18 件の回答

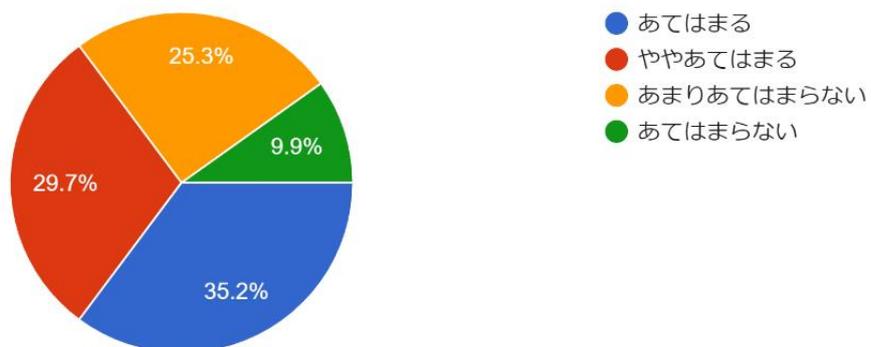


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【児童】

先生たちに相談したり、気持ちを伝えたりしやすい。

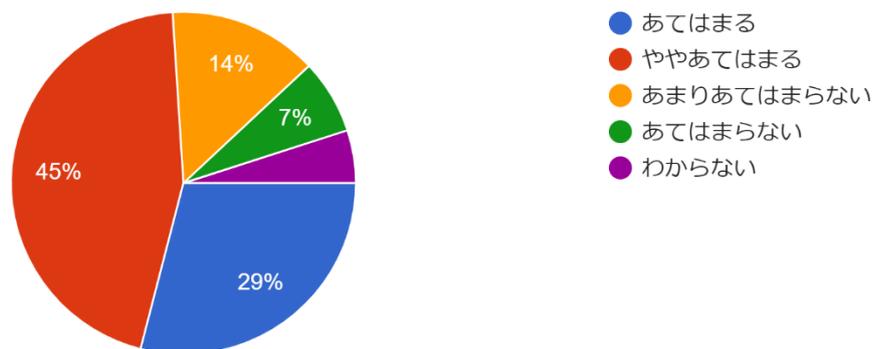
91 件の回答



【保護者】

保護者は、お子さんについて、教員に相談したり、要望を伝えたりしやすい。

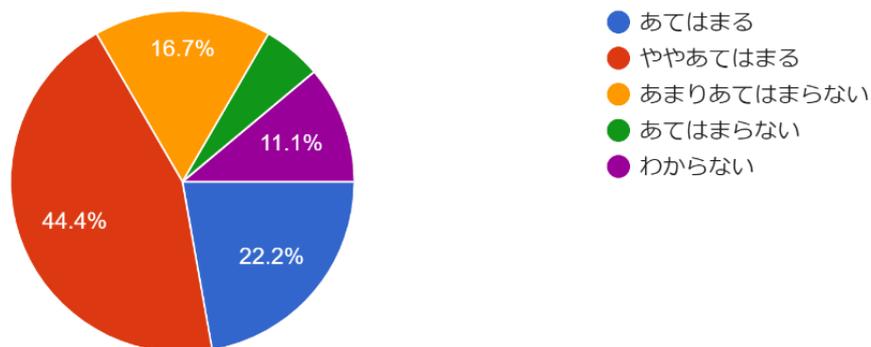
100 件の回答



【教職員】

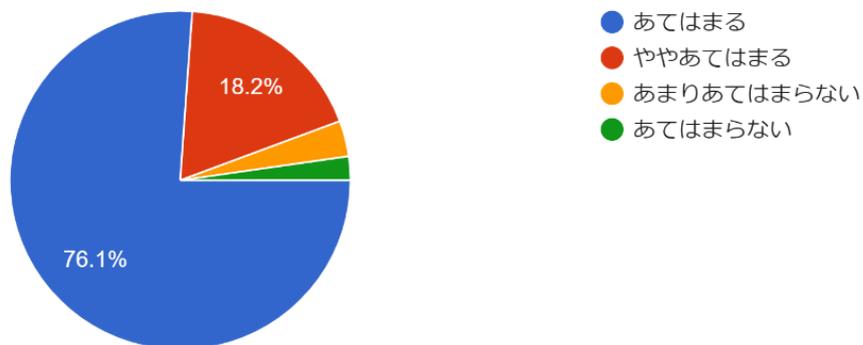
保護者は、子どもについて、教員に相談したり、要望を伝えたりしやすい。

18 件の回答



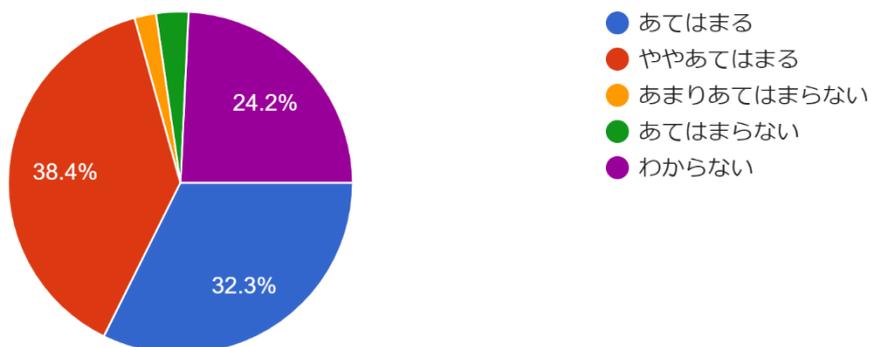
【児童】

インターネットやSNSなどを安全に使えるように情報モラルについて学習できた
88件の回答



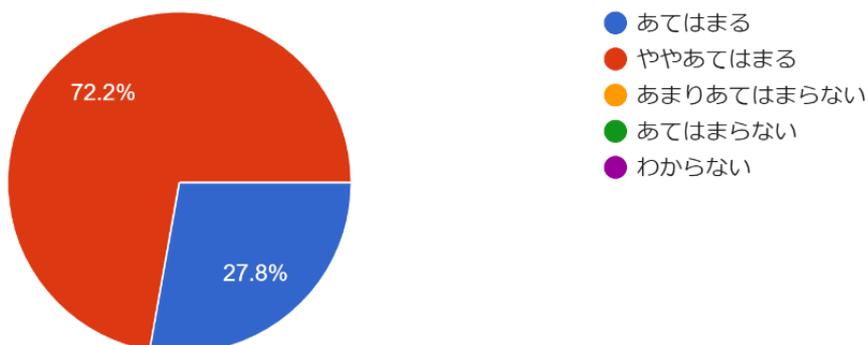
【保護者】

学校は、インターネットやSNSなどを子どもたちが適切に使えるように情報モラルについて指導している。
99件の回答



【教職員】

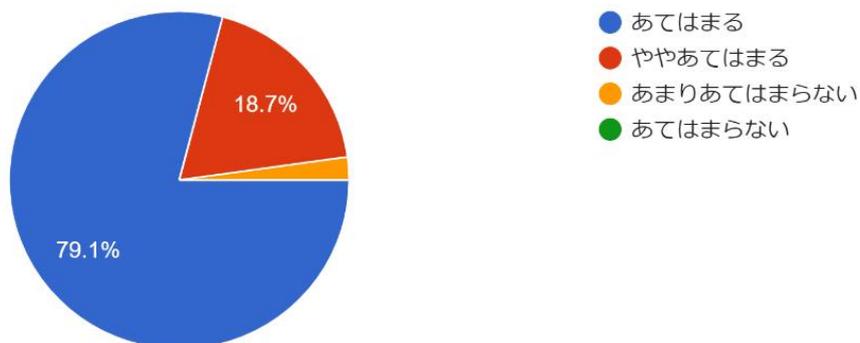
学校はインターネットやSNSなどを子ども達が適...使えるように情報モラルについて指導している。
18件の回答



【児童】

iPadを含めたICT機器を効果的に使って学習 できた。

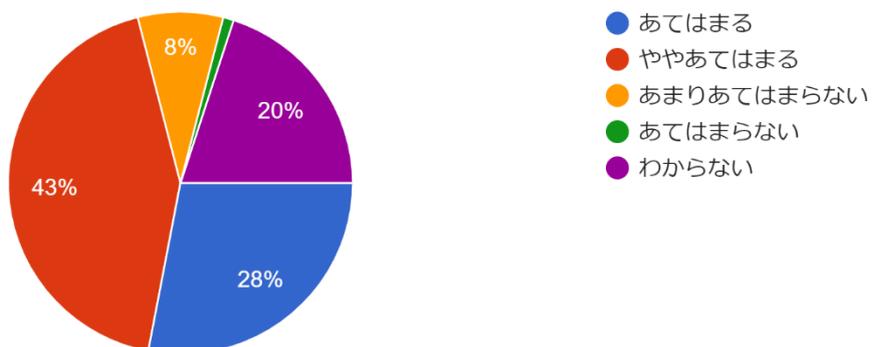
91 件の回答



【保護者】

学校は、iPad を含めた ICT 機器を効果的に活用した 学習指導をしている。

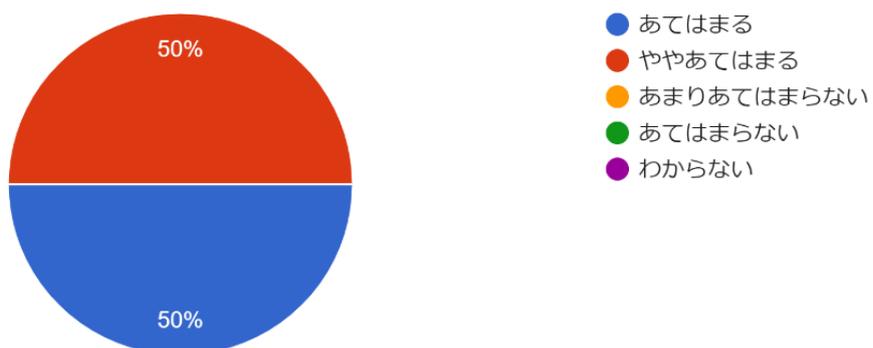
100 件の回答



【教職員】

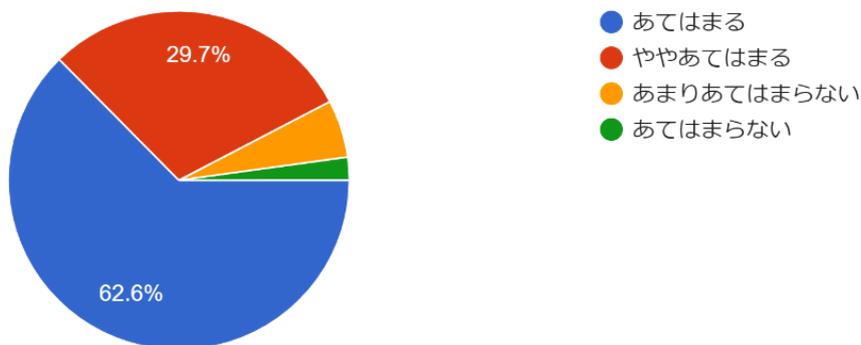
学校は、iPadを含めたICT機器を効果的に活用した学習指導をしている。

18 件の回答



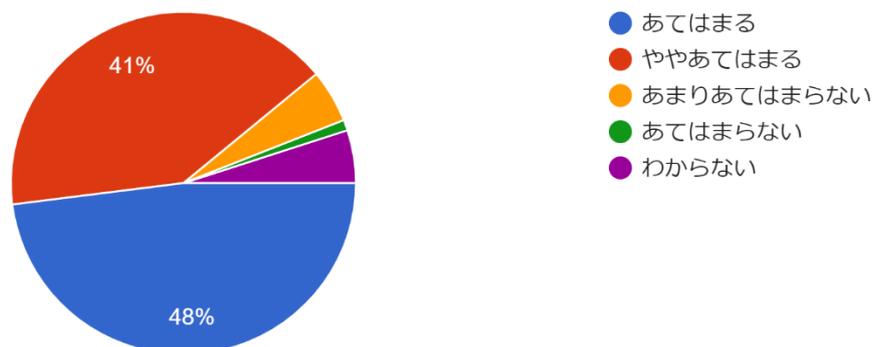
【児童】

学校は、不審者や侵入、災害に対する対策をしているので、安心して過ごせる
91 件の回答



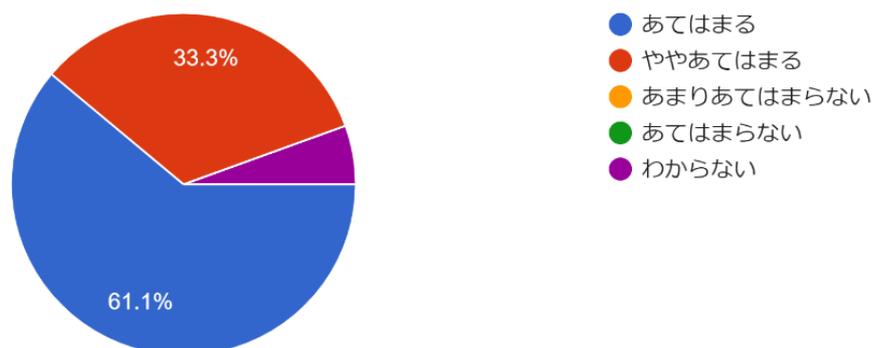
【保護者】

学校や不審者や侵入などへの防犯、避難訓練など災害に対する防災対策を行っている。
100 件の回答



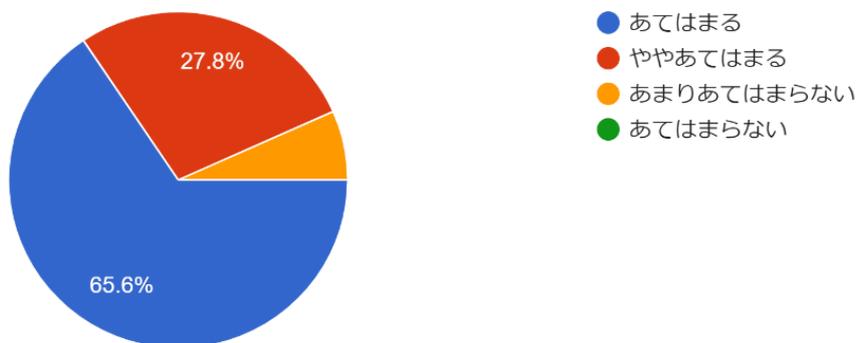
【教職員】

学校は不審者侵入などへの防犯、避難訓練などさいがいに災害に対する防災対策を行っている。
18 件の回答



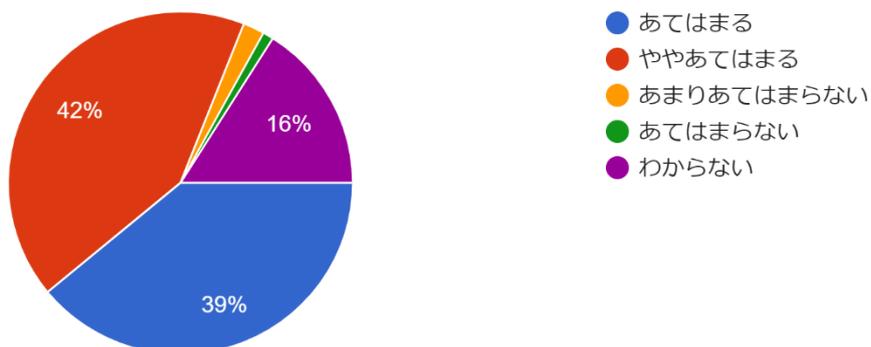
【児童】

自分は、道徳の授業や、CAP、横浜プログラムで
学習したことを生かして、生命を大切にしたり、お ...に認め合って生活しようとしていたりしている。
90 件の回答



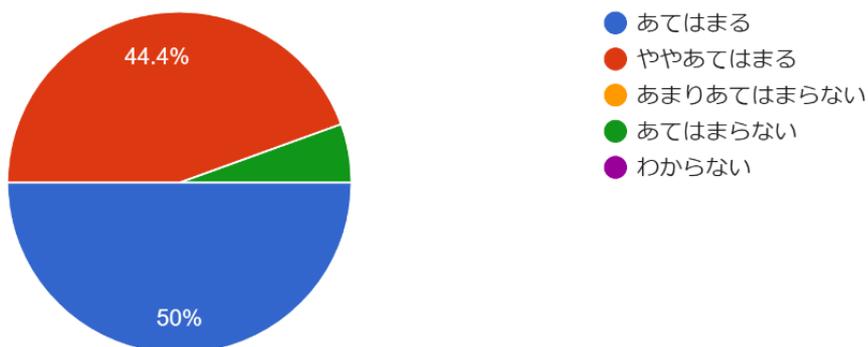
【保護者】

学校は、道徳の授業や、CAP、横浜プログラムの実践を
通して、子どもの生命や人権を尊重する態度を育てよう としている。
100 件の回答



【教職員】

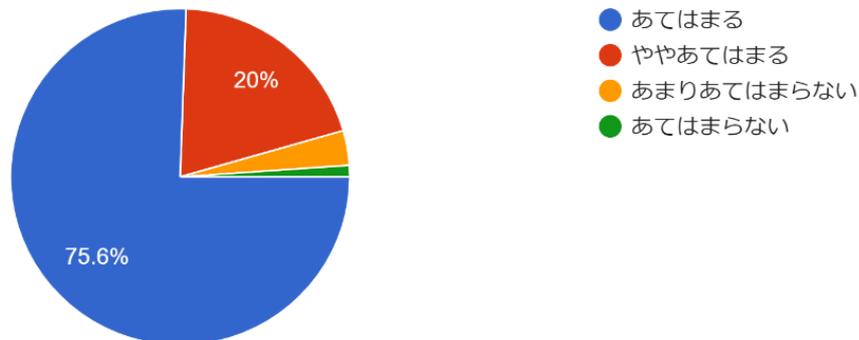
学校は、道徳の授業やCAP、横浜プログラムの実...命や人権を尊重する態度を育てようとしている。
18 件の回答



【児童】

学校は、感染症対策をしているので、安心して学校行事（運動会・音楽会・宿泊体験）に参加できた。

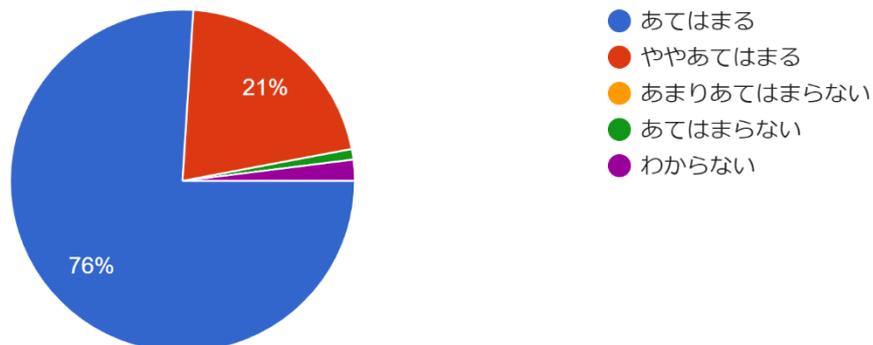
90 件の回答



【保護者】

学校は、感染症対策をふまえ、安全な学校行事（運動会・音楽会・宿泊体験）となるように計画している。

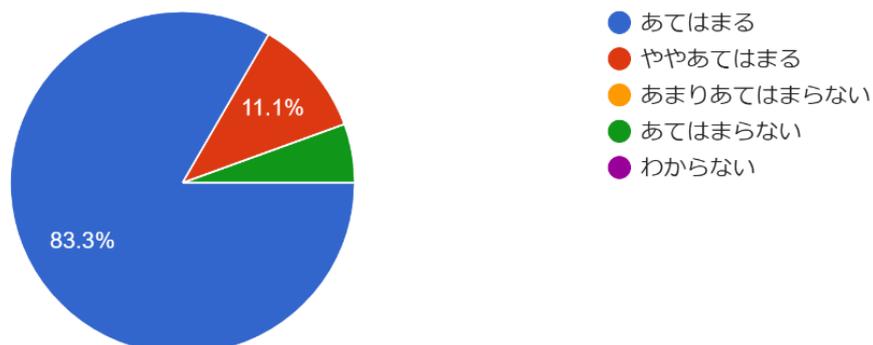
100 件の回答



【教職員】

学校は、感染症対策をふまえ、安全な学校行事(運...・音楽会・宿泊体験)となるように計画している。

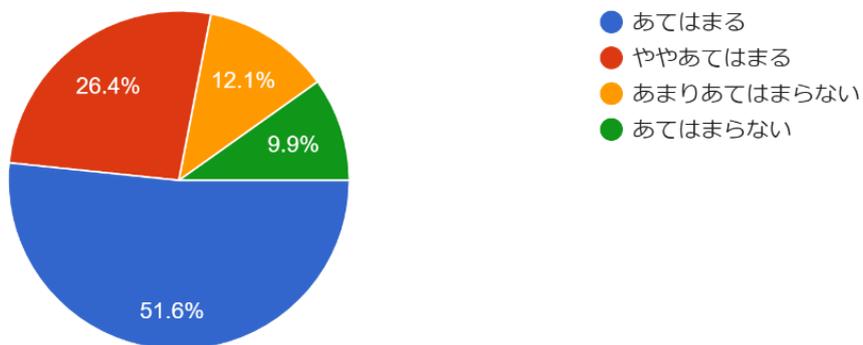
18 件の回答



【児童】

学校は、いじめや差別に対応しているので、安心して過ごせる。

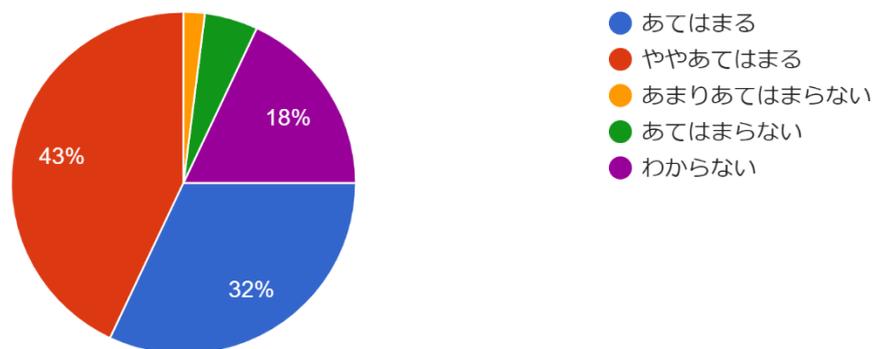
91 件の回答



【保護者】

学校はいじめや差別に対応し、安心できる学校づくりに努めている。

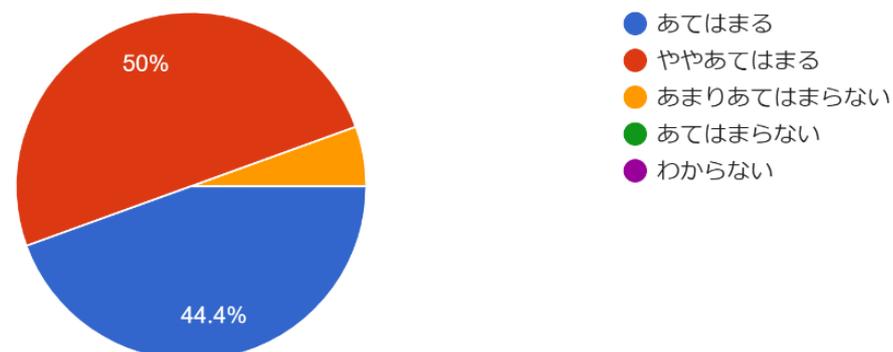
100 件の回答



【教職員】

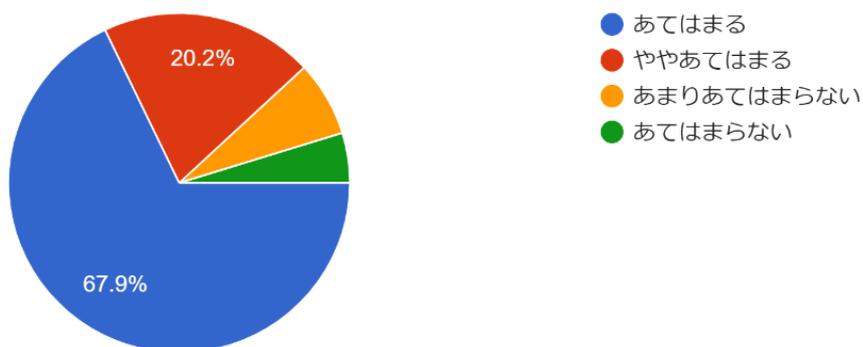
学校はいじめや差別に対応し、安心できる学校づくりに努めている。

18 件の回答



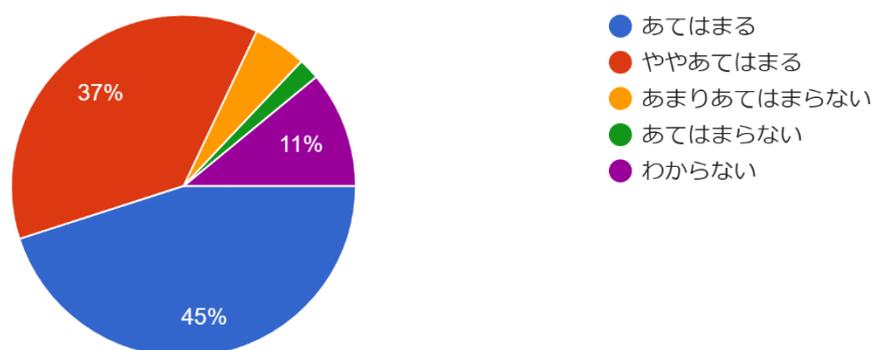
【児童】

学校は、スマイル教室や少人数指導などを通して一人一人に合った方法で学習を教えてくれる
84 件の回答



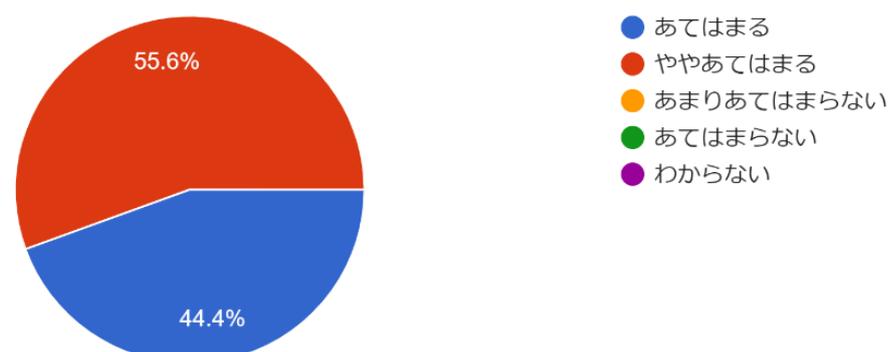
【保護者】

学校は、スマイル教室や少人数指導などで一人ひとりに応じた学習指導を充実させている。
100 件の回答



【教職員】

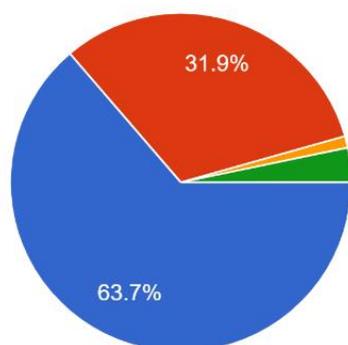
学校は、スマイル教室や少人数指導などで一人ひとりに応じた学習指導を充実させている。
18 件の回答



【児童】

学校は、工夫して楽しい授業を行っている。

91 件の回答

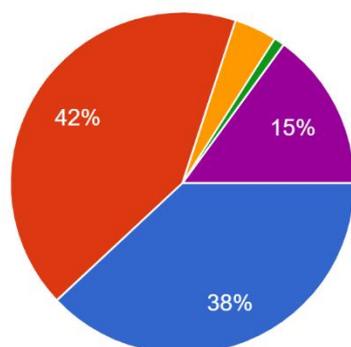


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

【保護者】

学校は工夫して楽しい授業を行っている。

100 件の回答

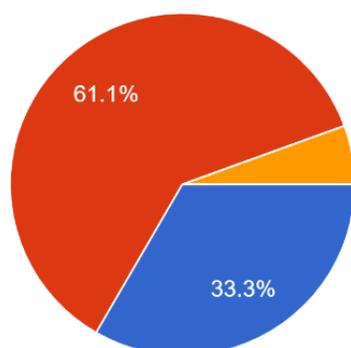


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【教職員】

学校は工夫して楽しい授業を行っている。

18 件の回答

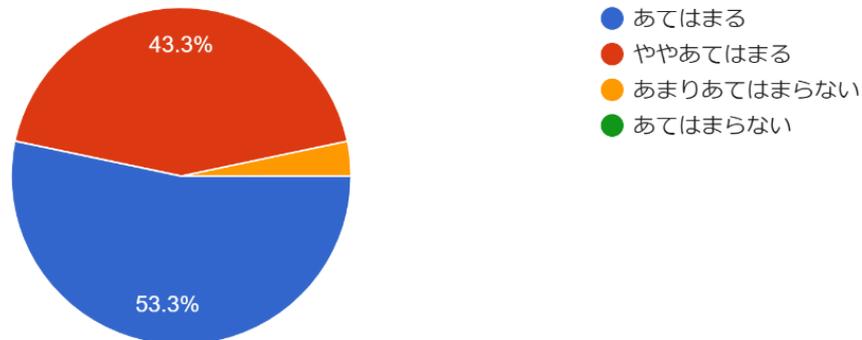


- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- わからない

【児童】

総合的な学習の時間は、自分が地域と関わり、他の人とのコミュニケーションを学ぶ機会となっている。

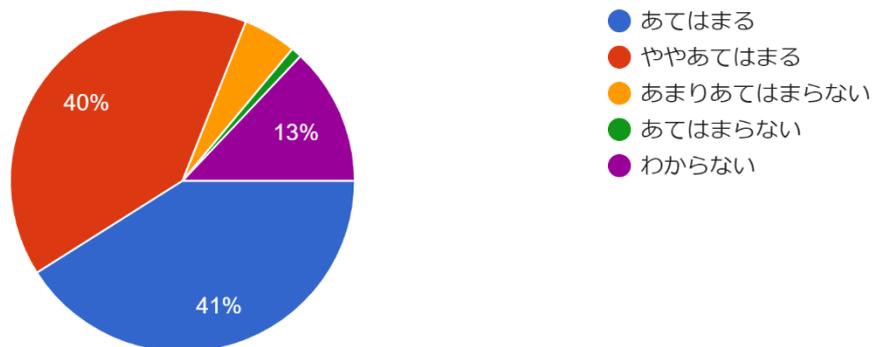
90件の回答



【保護者】

総合的な学習の時間は、子どもが地域と関わり、他者とのコミュニケーションを学ぶ機会となっている。

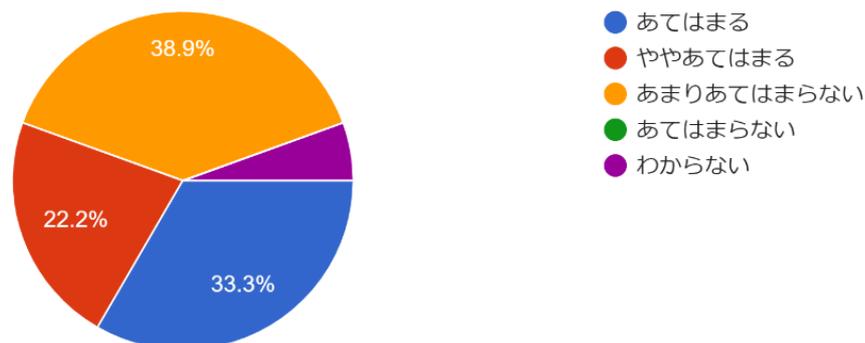
100件の回答



【教職員】

総合的な学習の時間は、子どもが地域と関わり、...のコミュニケーションを学ぶ機会となっている。

18件の回答



4 令和4年度 大口台小学校 学校評価報告

今年度の保護者による学校評価アンケートの集計結果の分析と、それに基づく今後に向けての方策や方向性を報告いたします。

【1学年】

学習面では、入学して初めての学びが楽しいものになるように、日常生活の場面と結びつけながら学習を進めました。学校生活に慣れた後期以降には、タブレット端末の使い方を学び、子どもたちが、自分で撮影した写真を授業の中で活用することができるようになりました。学習につまずいている様子が見られたときには、どこが分からないのかを見とり、その子に合った方法を見つけながら授業を進めました。保護者の皆様には、毎日の家庭学習へのご協力をいただきましたが、そのおかげで、子どもたちの基礎学力が定着し、学習習慣が身に付きました。

生活面では、まず教員が子どもたちのよいところを見つけ、伝えることを意識してきました。それが子どもたち同士の認め合いにつながり、自分のよいところに気付くことにつながりました。子どもたちは、友達と一緒に協力して活動することを通して仲間意識をもち、楽しく学校生活を送っています。これからも、思いやりの気持ちをもち、みんなで協力して生活していけるように声掛けを続けていきます。

【2学年】

学習面では、まず自分の考えがもてるよう、日常生活の場面と結び付けたり具体物を用いたりすることを心掛けました。その後は、友達の考えを知る活動を通して理解を深められるよう、集団学習の基礎を学ぶ機会を設けたりタブレット端末を活用したりしました。一人ひとりにあった学習を通して「できる」、魅力ある学習活動で「楽しい」、発展的な内容で「もっとやりたい」を増やしています。

生活面では、係活動やグループ活動に力を入れ、友達との学びの機会を増やしました。相談し合ったり、考えをまとめたり、クラス全体に報告したりと、集団意識が高まってきたと感じています。また、昨年度に続き、まず教員が子どもたちのよいところを見つけ、伝えることを意識してきました。それが子どもたち同士の認め合いにもつながり、自分のよいところに気付くことができました。これからも、いろいろなことに進んでチャレンジしていけるように声をかけていきます。

【3学年】

学習面では、自分の考えをもつ・表現できるようにするために、授業の中で発言・発表だけでなく、ノートやロイロノートでのふりかえりなどをする機会を多く設けるよう心掛けました。その後は、友達の考えを知る活動を通して理解を深められるよう、ペアやグループで話し合いをする場面も設定しました。学級の数が多いので、算数では少人数を取り入れ、クラスを半分に分けて授業を行うことで、個別に指導する時間が少しでも確保できるようにしてきました。

生活面では、係活動など自分たちで工夫して取り組める仕事内容を考えるよう促したり、生活の様々な場面で自分で考えて行動決定するよう指導したりしてきました。係活動の取り組みを工夫したり、自分で考えて行動できたりする場面が増えてきています。その一方で、なかなか自分が困っていることを周りにうまく伝えることができずに悩んでしまう子どもも多く、その都度教師が間に入りながら適切な思いの伝え方を一緒に考えて、子どもたちだけでも思ったことを伝え合えるように声をかけています。

【4学年】

学習面では、子どもたちの疑問や課題意識から学習活動につなげていくことで、子どもの思いをなるべく取り入れ、主体的に取り組める授業を心がけました。また、算数科では、教師二人体制でよりきめ細かく学習支援ができるよう努めました。また、昨年度よりグループ活動の時間が増え、児童同士の言葉でのやり取りが増えました。どう説明をしたら、多くの人に伝わりやすいのかをペ

アやグループ活動から練習を進めています。これからも、言葉で人に伝える機会を増やしていきたいと思います。

生活面では、各月の生活目標を意識して過ごすことができました。至らなかったところに関しては、クラスで振り返りを行い、どうすればよいかを話し合いました。また、学校生活の中で、子ども同士の関わりや、意見や考えの伝え合いの機会が以前より増えました。一方で言葉が足らずに間違った伝わり方をしてしまったり、心を傷つける言い方になったりしている場合があります。どうすればお互いが過ごしやすいのかを考えるとともに、正しい言葉遣いや語彙を増やす指導を心がけていきたいと思います。

【5学年】

学習面では、一人一人を丁寧に見取りながら、分かりやすい授業づくりをするよう心がけました。高学年になり、学習への取組に個人差が見られるようになってきていると感じます。算数の学習では学習のねらいに迫れるよう、計算のところだけ計算機を使うようにしたり、友達同士で教え合う時間を設定したりしました。個々の実態に応じたスモールステップの学習や、得意を伸ばせる発表場面の設定などを意識し、より充実した学習になるよう努めていきます。タブレット端末については、撮影した動画を参考に体育のふりかえりをしたり、調べたものをスライドにして発表したりして学習を深めるために役立てています。また、教師の見守りのもと、児童間での通信なども活用して互いの考えを共有し認め合う場面にも生かしています。

生活面では、元気にあいさつをする児童が多い学年であると感じています。校内だけでなく見学先の施設の方へのあいさつもよくできていました。スマートフォンやタブレット端末を家庭でも使用している児童も増え、使い方のトラブルが見られました。情報モラルについて丁寧に指導していきたいと思っています。また、ご家庭でもルールの確認や点検をしてもらえるようお願いをしていきたいと考えています。

【6学年】

小学校生活最後となる大切な一年を充実させられるよう、内容を工夫しながら様々な活動に取り組みました。学習面では一人一人を丁寧に見取りながら、分かりやすい授業づくりをするよう心がけました。昨年度の積み重ねがあるため、学習への取組に個人差が少なくなっていると感じます。

今後も、個々の実態に応じたスモールステップの学習や、得意を伸ばせる発表場面の設定などを意識し、より充実した学習になるよう努めていきます。

タブレット端末については、グラフや表などを用いて国語や社会でのレポートを作成したり、撮影した動画を参考に体育のふりかえりをしたりするなど、学習を深めるために役立てています。また、教師の見守りのもと、児童間での通信なども活用して互いの考えを共有し認め合う場面にも生かしています。

生活面では、昨年度に引き続き感染症予防を行いながら、安全・安心な学校生活が送れるようにしました。委員会の活動などを通して、最高学年として下の学年の手本になりたいという姿も見られています。一方で、人間関係や学習面での不安も大きくなる時期です。直接相談できないことも出てくることかと思いますが、各ご家庭と連携しながら、子どもたちに寄り添い、支援していけるよう努めていきます。

【全校】

今年度も昨年度同様、アンケートの対象を保護者に加え、5年生以上の児童、職員とし、三者の回答を比較することで、さらに課題について見えやすくなるようにしました。全体的にはどの項目も肯定的な回答が多く、教育活動についてご理解をいただけていることが分かりました。いただいたコメントにも、そのような意見が多く、学校としても大きな力をいただきました。ありがとうございます。その中でも顕著な傾向が見られた設問は次の通りです。

設問1「学習に対する理解」については、三者とも肯定的でした。今年度は、スマイルルーム（取り出しの学習指導）では、担当教員を配置し、同じ困り感をもつ児童をグルーピングして指導するなど枠の増設ができるようにしました。

また、設問13「工夫した楽しい授業」については、昨年度同様に児童の「あてはまる」という回答が職員や保護者を大きく上回る結果となりました。今後も、教職員一同自信をもって、子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいけるように授業改善に努めます。

設問5「教員への相談のしやすさ」については、児童の否定的な回答が職員や保護者に比べ多い結果となりました。子どもが困った時にSOSを出しやすいように児童と担任との教育相談の場を設定したり、相談カードの活用を全校に呼びかけたりしましたが、まだ十分ではないようです。伝えたいことを遠慮なく発信できるような雰囲気づくりをしたり、アンケートの実施回数を増やしたりしていきます。

設問2「進んであいさつ」設問3「適切な言葉遣い」については、保護者・児童と職員の認識に開きが見られました。保護者や職員が思っている以上に子どもたちはできていると感じているようです。今年度も、運営委員会による挨拶運動を始め、生活のめあてを設定し振り返りをするなどして、互いに心が通じ合えるあいさつについて児童自身が考え、めあてをもって取り組めるような学習を取り入れましたが、全員はできてはいないという思いが職員にはあります。引き続き教師自らが率先して気持ちのよいあいさつをしていくことで、あいさつのよさが児童にも伝わるようにしていきます。

情報モラル・ICT機器の活用・人権指導・いじめや差別への対応については、保護者が「よく分からない」との回答が多く見られたので、授業参観やおたより、ホームページ等で取組をお伝えしていけるようにしていきます。

保護者による学校評価アンケート（ご質問・ご要望）に対する回答をします。

ご家庭からのご意見とご提案	学校の対応と回答
入学式では、氏名の50音順に保護者の座席が指定されて、よく見えなかった。卒業式では、反対にしてみたい。 音楽会の指定席については不便を感じた方の声を聞いた。	感染状況により、今後は従来の受付順に戻すことも予想されます。その時代の状況にあった座席配置をしております。いただいたご意見は参考にさせていただきます。
日頃の生活態度などを保護者と教員の皆さんで直接やり取りできる仕組みの導入。	ご心配なことや気にかかることがありましたら、連絡帳や電話で遠慮なくお問い合わせください。教育相談も随時お受けいたします。
マチコミなどを利用して、どんな活動をしているのか学校の情報を流してほしい。	学校ホームページでは、主な行事の取組を発信しています。そちらもぜひご覧ください。
そろそろ給食時間を長く、黙食をなくしてほしい。	現在黙食は行っておりませんが、児童は、周りに配慮しながら、給食を食べています。給食時間については、従来と変わっておりません。
プリントはマチコミ配信を活用して減らしてほしい。	児童が配布物をきちんと家庭に届ける力を育てることも教育的なねらいのうちの1つと考えています。ご家庭の協力もあり、現在の提出物の回収率はとてもよい状態です。重要な提出物（面談等）などの場合は、マチコミで配布したことをお知らせしています。

*裏面に市教育委員会に提出する「学校評価報告書」（全市共通様式）を掲載します。

事前に「小中一貫ブロック」での相互評価、「学校運営協議会」による関係者評価、を行い、確認を得ています。

*学校評価結果につきましては、学校ホームページにも掲載します。貴重なご意見をありがとうございました。

重点取組分野	令和 4 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	①問題を自分事としてとらえ、主体的に問題解決する学習方法の工夫。②友達の意見を取り入れ、自分の考えと比較しよりよい考えへと発展させられるように支援する。③ICT機器の検索機能や、思考ツール等のアプリケーションを活用し、自分の考えをまとめたり課題点と改善方法を発見したりし、深い学びに繋げる工夫。		
道徳教育	①道徳の授業公開を全学級で行う。②わくわくトライ活動では、ベア学年による活動を取り入れ、各学年でのめあてを明確にし、充実させていく。③地域や商店街、盲特別支援学校などの交流を通して、様々な人の立場の思いに触れ、自分たちができることをしていこうとする心を育てる。		
健康教育	①外遊びを推奨していくことで、体力向上、運動の習慣化を図る。 ②運動委員会と連携して密を避けた運動を紹介し実践することで、体力向上、運動の習慣化を図る。 ③R-PDCAサイクルに基づく課題と成果をもとに、子どもにとって必要感のある取組を、学校保健委員会で設定し運営する。		
地域学校協働活動	①学校・地域コーディネーターと協働し、外部の力の効果的・効率的な活用方法を検討し、より豊かな教育活動へとつなげる。②学校運営協議会による評価、アドバイスをもとに、新しい生活様式での学校の現状と課題について、学校、保護者、地域が協働して教育活動を進める。		
いじめへの対応	①児童の情報を全職員で共有し、いじめの早期発見と早期対応・家庭や関係機関との連携を確実に行う。②いじめの起きにくい風土の醸成に努め、児童と教職員が挨拶や気持ちのよい言葉遣いに取り組む。③人権的立場に常に立ち、いじめ、偏見、差別をなくすための授業を行う。		
人材育成・組織運営(働き方)	①5年以下の教職員でメンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心に年7回の活動をし、5年以下の教職員とミドルリーダーの育成を図る。②学校運営会議を月1回開催し、学校運営を組織的に行う。③グループウェア等を活用し、情報の共有化を図るとともに、「電子申請システム」を活用し事務の簡便化、効率化を図る。		
児童指導	①児童の実態に応じて、Y-P(子どもの社会的スキル横浜プログラム)やSST(ソーシャルスキルトレーニング)を道徳や各教科の授業で行い、年間を通じて継続した実践をする。②携帯電話やスマホの利用、犯罪や問題行動について、学校、関係機関、家庭と連携した授業を行う。		
特別支援教育	①特別支援を必要とする児童の個別の指導計画を作成し教職員の共通理解を図る。②適切な支援・指導の必要に応じ、関係機関との連携を図る。③校内研修で教職員の特別支援教育への理解を深める。④学習に遅れがある児童に特別支援教室によるきめ細やかな指導を行う。		
自分づくり教育	①「総合的な学習の時間」を中心に、地域と関わりながら学ぶ機会を設定し、他者とコミュニケーションをとりながら学びを深める機会を増やす。また、学ぶことや働くことの意義を考える場を設定する。③年間を通して異学年交流を適切に設け、他者とのかかわりの中で一人ひとりの自己有用感を高める。		
安全教育	①年間の防犯・防災訓練計画を見直し、校内の防犯・防災教育の一層の充実を図る。 ②災害や事件・事故発生時の対応について教員の共通理解を図るとともに、児童の防災・防犯意識を高める。		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 5 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	b1		
道徳教育	b2		
健康教育	b3		
地域学校協働活動	b4		
いじめへの対応	b5		
人材育成・組織運営(働き方)	b6		
児童指導	b7		
特別支援教育	b8		
自分づくり教育	b9		
安全教育	b10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 6 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	c1		
道徳教育	c2		
健康教育	c3		
地域学校協働活動	c4		
いじめへの対応	c5		
人材育成・組織運営(働き方)	c6		
児童指導	c7		
特別支援教育	c8		
自分づくり教育	c9		
安全教育	c10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

6 教育活動の具体的な取組

〇日々の活動の様子 ～学校ホームページから～

創立記念式



4月28日に創立記念式が行われました。
大口台小学校を卒業された大先輩から、昔の学校の様子を聞きました。
「これからも、しあわせいっぱいの大口台小学校でいられるように、みなさんもがんばってください。」
と、応援メッセージをいただきました。

登録日: 2022年4月28日 / 更新日: 2022年4月28日

学校たんけんをしました



2年生が1年生を連れて、学校の案内をしました。
1年生に優しく接する2年生の姿を見て、頼もしく感じました。
1年生も、とても楽しそうに学校たんけんをしていました。

登録日: 2022年5月10日 / 更新日: 2022年5月10日

エプロン先生、ありがとうございました。



4月13日(水)～5月13日(金)まで、給食の準備や後片付けのお手伝いとして、エプロン先生が1年生の教室に入ってくれました。そのおかげで、とても上手に準備や後片付けができるようになりました。ありがとうございました。

がんばったよ 体力テスト



5月17日(火)18日(水)に体力テストを行いました。わくトラグループごとにまとまって、各種目を行いました。高学年が低学年に対して、優しく教えながら測定していました。
また、地域や保護者14名の方が測定の手伝いをいただきました。ありがとうございました。

交通安全教室に参加しました



5月24日(火)2・3時間目に、校庭で交通安全教室に参加しました。
1年生は「正しい歩行の仕方」、4年生は「安全な自転車の乗り方」について、神奈川交通安全協会の方から教わりました。また、PTAの方のお手伝いをいただきました。
子ども達は、交通ルールやマナーについて学び、安全意識を高めることができました。

6年生 東京見学



5月26日(木)に、6年生が国会議事堂と科学技術館に見学に行きました。
天気に恵まれ、少し汗ばむ陽気でした。国会議事堂では、参議院本会議場の傍聴席に座ることができました。
マナーをしっかりと守り、大口台小学校の代表として立派な態度で見学できました。

4年生 愛川宿泊体験学習 1日目



6月7日・8日に、4年生は愛川宿泊体験学習を行いました。
1日目は、あいにくの雨のため、雨プログラムに変更になりましたが、木スプーン作りやキャンドルファイヤーを楽しんでいました。特に、キャンドルファイヤーでは、4年生全員が大いに盛り上がり、汗びっしょりになりながら、ダンスやゲームをしていました。
2日目の様子は、明日アップします。

朝の体力向上集会が始まりました。



毎週木曜日、体力向上を図ることを目的として、朝の運動会を行います。
6月と7月は、長縄跳びを行います。各クラスで立てためあてを達成するために、みんなで声を掛け合って跳んでいた。

6年生 日光修学旅行 1日目



「日光をたのうしよう 思いきり 旅は短し 学べ6年」をテーマに、7月11日～12日の2日間、6年生は日光修学旅行に行きました。
熱中症が心配されましたが、ほどよい爽快感で戦場ヶ原ハイキングができました。前日の天気の影響が、滝壺と華厳の滝の水量がすくなく、日光の自然を思いきり堪能することができました。
夜には日光彫りに挑戦し、職人の方に丁寧に教えていただきながら、オリジナル作品を作りました。
2日目の様子は、明日アップします。

6年生 日光修学旅行 2日目



2日目は、日光東照宮に参拝しました。歴史を感じる迫力に圧倒されていました。本物を肌で感じることができました。ガイドさんの話もよく聞いていました。
お土産を買うときは、事前に計画を立てて臨みましたが、お店に入ると目移りをしてしまい、悩みながら楽しくお買い物をしていました。
日光を思いきり堪能した2日間でした。短い旅でしたが、多くのことを学んだと思います。この学びを今後の学校生活や学習につなげてほしいです。

4年 盲特別支援学校 点字・歩行体験



9月5日(月)に4年生が盲学校に行き、点字についてのお話を聞いたり、歩行体験をしたりしました。盲学校には部屋の前に目印があると、各々が同じやり方になっていることなど、たくさんのお話を聞くことができました。
歩行体験では二人一組になり、手引きをする人と目を閉じて歩く人で学校を回りました。「目を閉じていると、階級の最後の段がいつの間にか分からない」「手引きする方もこわい」など、実際に体験して分かることも多かったようです。
今回の体験を経て、子どもたちが新たな疑問がたくさん生まれました。これからの学習にどうつながっていくのが楽しみです。

5年 三浦宿泊体験学習(1日目)



9月14日(水)に1泊2日の三浦宿泊体験学習に参加しました。
1日目は天気に恵まれ、ウォークラリーと磯遊び、キャンプファイヤーを行いました。磯遊びでは、必死になって海の生き物を探していました。キャンプファイヤーでは、大いに歌い、大いに踊った時間を過ごしました。
2日目の様子は、明日配信します。

2年 食育キャラバン



2年生は、9月16日(金)に食育キャラバンに参加しました。
横浜マリノスの方に基本的なボール操作を学び、簡単なゲームをしました。プロのドリブル技術のすごさに感心していました。最後に「朝ご飯をしっかり食べると、勉強やスポーツができるようになるよ。」と食の大切さについて話をいただきました。

5年 三浦宿泊体験学習(2日目)



心地よい気温の中、2日目の活動が始まりました。
農業体験では、プロ指導員で育てたナスを収穫しました。様々なナスの種類があることに驚きながら、収穫を楽しんでいました。「地産地消の大切さ」や「野菜と天気の影響」などの話を聞き、感心していました。午後は、ソレイユの丘で昼食をとった後、友達とよく遊びました。
三浦宿泊体験学習に向けてたくさんのお話を準備し、それらを発揮できた2日間でした。2日間学んだ感謝の心やマナーのある行動、けじめをつけることなどを、これからの学校生活でも生かしてほしいと思います。

合唱部 ふれあいコンサートレク交流会



10月1日(土)に神奈川中学校体育館で「ふれあいコンサートレク交流会」が行われました。大口台小学校の合唱部と白樹小学校の3年生有志、神奈川中学校の吹奏楽部が参加しました。感染症対策のため、久しぶりの音楽会でした。途中で神奈川中学校の生徒会によるレクがあり、クイズに答えていました。本校の児童も「楽しかったあ〜。」「来年も参加したい。」「笑顔で話していて、とても楽しい会になりました。」

スポーツフェスティバル2022

10月22日(土)にスポーツフェスティバルが開催されました。徒競走と演技、連続リレーに加え、応援歌や5・6年生の子どもが用具や放送、審判などの体活動を行いました。久しぶりの全校運動会。子ども達の活躍がたくさん見られたスポーツフェスティバルになりました。



2年生 スーラシア動物園遠足



3年生 みなとみらい遠足



11月4日(火)に3年生はみなとみらいに遠足に行きました。ランドマークタワーの最上階に行き、横浜のまちを見渡し、興奮していました。その後、横浜みなと博物館と日本丸に行き、見学しました。社会科で学んだことを実感することができた遠足でした。

見守り隊 感謝の会



11月4日(金)朝会で見守り隊の方を招待して、感謝の会を行いました。多くの地域の方が見守ってくださっているからこそ、安全で安心して登校できることに改めて気づき、感謝の気持ちを感謝状にして伝えました。

いつも見守ってください、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

1年生 野毛山動物園遠足



11月10日(木)、1年生は野毛山動物園に遠足に行きました。小学校に入学して初めての遠足でした。みんなで仲良く、楽しく動物を見ました。鳥の大きな鳴き声に驚いている姿がありました。一人ひとり興味をもって、見学していました。

3年生 神奈川区音楽会



11月11日(金)に3年生は、神奈川区音楽会に参加しました。「小さな世界」「ねえ、うたおう」ハーモニーがきれいで、明るい声で素晴らしい歌が歌っていました。校内音楽会でも発表します。

校内音楽会



人権週間が始まりました



12月は人権週間があります。一人ひとりがお互いの違いを認め、お互いの人権を守ることの大切さを考える週間です。それに先立ち、12月2日の朝会で、盲特別支援学校の副校長先生をお招きし、点字の話を聞きました。それぞれの違いを知り、認め合って生活できるよう継続して指導していきます。

歯科巡回指導



12月7日に歯科巡回指導がありました。歯科衛生士の先生に歯みがき検査をしていただきました。先生からは、「よくみがけていますね。」「野菜が苦かぬ?」「もう少し早く寝るといいですね。」と、アドバイスをもらいました。健康な歯を保つように丁寧に教えていただきました。

校内作品展



12月8日(木)～12月15日(木)の期間、校内作品展が行われています。時間をかけて作成した図工や家庭科の作品が展示されています。

1年生 松見保育園と交流



12月14日(木)に松見保育園の園児を招いて、1年生と一緒に校内作品展を鑑賞しました。仲良く作品を見ている姿に、1年生の成長を感じました。

書初め大会



みなさま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

冬休み明けの2日目から、全学年が書き初めに取り組んでいます。作品は、1月の授業参観でご覧になれます。お楽しみに。

給食週間



本校では1月20日(金)～1月27日(金)まで給食週間を設定しています。給食の歴史や給食調理の仕方を知り、食への興味や理解を深める週間です。1月20日には給食委員会を行い、調理員さんのインタビューをきいたり、クイズに答えたりしました。

また、給食週間で給食パンにも取り組みます。給食について、少しでも違った視点をもてる週間になってほしいと思います。

【1年生】新春かるた大会



1月23日(月)に近隣の通園児を招いて、かるた大会を行いました。1年生が礼の場所を覚えてあげながら、かるた大会を行いました。また、休み時間には学校案内をしました。1年生はとても立派に成長していると感じられた時間でした。

【3年生】クラブ見学



1月24日(火)に3年生はクラブ見学を行いました。来年度のクラブ活動選定の参考にするために、興味をもって見学していました。

7

令和4年度 横浜市立大口台小学校・地域学校協働本部活動内容

実施月	分類	支援活動	内容
4月～5月	学習支援	新一年生給食ボランティア	給食補助
4月～5月	学習支援	図書ボランティア活動	読み聞かせ
4月	学習支援	創立記念式「ようこそ先輩」	講演者紹介
5月	学習支援	体力測定	測定補助
5月	学習支援	交通安全教室参加	
5月	学習支援	地域コーディネーター研修会	他校との情報交換会
6月	環境整備支援	藤の木剪定	
10月	学習支援	運動会	運営補助
11月	環境整備支援	一人暮らし高齢者宛年賀状作成依頼	地区社協より
通年	環境整備支援	「見守り隊」	登下校時見守り

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行事等予定	日	曜	行事等予定	日	曜	行事等予定	日	曜	行事等予定
1	土		1	月	2年:聴力検査	1	木		1	火	安全訓練【総合防災】朝会
2	日		2	火	4年、45組:聴力検査 地域訪問(1)	2	金	横浜開港記念日 学校閉庁日	2	水	
3	月		3	水	【憲法記念日】	3	土		3	木	【学校閉庁日】
4	火		4	木	【みどりの日】	4	日		4	金	【学校閉庁日】
5	水		5	金	【こどもの日】	5	月		5	土	委員会活動
6	木		6	土		6	火	4年:愛川宿泊体験学習	6	日	
7	金	始業式 着任式 令和5年度「入学式」 ■給食なし	7	日		7	水	4年:愛川宿泊体験学習	7	金	朝会 代表委員会
8	土		8	月	地域訪問(2) 6年:視力検査	8	木		8	土	【学校閉庁日】
9	日		9	火	地域訪問(3) 5年:視力検査 防災訓練(地震)	9	金	朝会 6年日光保護者説明会	9	水	【学校閉庁日】
10	月	大掃除(教室移動) 教科書配付 ■給食なし	10	水	4年愛川保護者説明会 4年:視力検査	10	土		10	月	6年:日光修学旅行
11	火	6年:発育測定 ■給食なし	11	木	教育相談(1) 全学年:眼科検診	11	日		11	火	6年:日光修学旅行
12	水	5年:発育測定 ■給食なし	12	金	教育相談(2) 3年:視力検査	12	月		12	水	
13	木	4年:発育測定 ■給食開始	13	土		13	火	委員会活動	13	木	
14	金	朝会 3年:発育測定	14	日		14	水		14	金	懇談会 5年:三浦宿泊保護者説明会
15	土		15	月	2年:視力検査	15	木		15	土	【学校閉庁日】
16	日		16	火	委員会 1年:視力検査	16	金		16	水	【学校閉庁日】
17	月	2年:発育測定	17	水	4、5組:視力検査	17	土	土曜参観 避難訓練・引き渡し訓練 5校時授業	17	月	海の日
18	火	4、5組:発育測定 6年:全国学力学習状況調査	18	木	1、4年、希望者:耳鼻科検診	18	日		18	火	クラブ活動③
19	水	1年:発育測定	19	金	集会(わくトラ開き) 1年、4・5組:授業参観 PTA総会	19	月	土曜参観代休	19	水	大掃除 ■給食最終
20	木	2、4、6年4・5組:歯科検診	20	土		20	火	クラブ活動②	20	木	朝会 ■給食なし 午前授業 【夏休み前最終日】 夏季休業開始
21	金	1年生を迎える会 授業参観・懇談会 1年、45組:懇談会のみ	21	日		21	水		21	金	
22	土		22	月		22	木	プール開き集会	22	土	
23	日		23	火	クラブ活動①	23	金	音楽朝会 代表委員会	23	日	
24	月	1年5校時授業開始	24	水	1年:心電図検査	24	土		24	月	
25	火	1、3、5年:歯科検診 委員会	25	木	1年:心電図検査	25	日		25	火	横浜子ども会議10:00~
26	水	3年:聴力検査	26	金	音楽朝会	26	月		26	水	
27	木	学力学習状況調査 1年:聴力検査	27	土		27	火		27	木	
28	金	4年:創立記念朝会 学力学習状況調査 4、5組:聴力検査	28	日		28	水	学校保健委員会(1)?	28	金	前期後半開始 午前授業 ■給食なし
29	土	昭和の日	29	月		29	木	体力向上	29	土	
30	日		30	火		30	金		30	水	■給食なし
			31	水	代表委員会				31	木	■給食開始

令和4年度 第7回 学校運営協議会 記録

日時 令和5年2月24日(金) 16:00～

【出席者】

(地域)

地域代表4名 地域コーディネーター1名 学識経験者2名

(学校)

校長 副校長 主幹教諭2名 教諭2名

1 校長挨拶

国際色が豊かになってきた。外国籍の子が転入してきた。日本語の支援のためサポートの方に来てもらっている。来年度は新一年生が55人入学。来年度の学校経営についてお話しするのでご意見をいただきたい。

2 委員長挨拶

マスク姿も来年度はなくなる可能性がある。令和4年度の最後の学校運営協議会になる。お疲れさまでした。地域でもやりたくてもやれない行事があった。昨日はパン祭を行うことができた。たくさん子どもたちが参加してくれた。これから様々な行事ができるようになるだろう。

3 令和4年度の報告 質疑応答

(1) 令和4年度の学校経営について【校長】

資料参照

(2) 大口台小学校重点研究について【研究主任】

自己肯定感をもてる子どもの育成に取り組んだ。本年度は教師がどのような支援をしたらよいのかをサブテーマにした。昨年度はプラン検討で授業の大枠を決めることをしていたが、指導案検討に戻した。具体的な指導・支援の仕方を検討することができた。算数では晴や雨のマークのカードを作り、意思表示ができるようにした。体育ではタブレット端末の活用が精練されてきた。タブレットの活用だけでなく、子どもたちの交流が活発に行われるような授業も行っている。タブレット端末を活用できているが、時には紙媒体を利用するほうが学習効果が高いとも考えている。

(3) いじめ防止対策委員会報告【児童支援専任】

個人面談などで保護者の悩みや子どもたちがどのような思いをもっているのかを知ることができた。年2回 YP

アンケートを取った。データを分析することで、子どもがどうしてそのような行動をとるのかの根拠を見つける研修を行った。教師が子どもと1対1で話す教育相談を行った。その中で、子どもが気持ちを上手に表現することができず相手を傷つけることがよくあると分かった。SNS などでも端的な言葉で相手を傷つけているようだ。相手の失敗を認められない様子も見られる。また、思い込みからトラブルに発展していることもある。

来年度は自己表現力を高める、トラブルが起きたときに時系列で整理し支援する、攻撃的にならず少し我慢することを指導していきたい。SNS の講座なども行っていきたい。言葉遣いについては学校だけでなく、ぱれっとも共通理解をしていきたい。

(6) 学校の様子【副校長】

学校ホームページから転用。

まだまだ制限があるが来年度はもう少しできるようになるだろう。

(7) 学校地域協働活動事業報告【地域コーディネーター】

資料参照

ようこそ先輩では前田先生に来ていただいた。

年賀状を450名の方に送付できた。

PTA にも呼び掛けているが、見守り隊の人数が増えない。

(8) 令和5年度学校行事予定について【教務主任】

資料参照

来年度は体育館での集会・朝会ができるようになるとうよと考えている。

7月の個人面談を9月に行い、7月は懇談会のみを予定している。

神奈川中学校の職業体験が復活するので、生徒が来るかもしれない。

音楽会を音楽朝会にする。10月、11月は行事が多く落ち着かない児童が出てしまうため。また、職員の負担軽減のため。

【質疑応答】

学年を複数の教員で見るということだが、どれくらいの割合か(地域コーディネーター)

例えば3年生だと社会と理科を交換、図工と音楽は専科で行っている。学年に応じてだが授業交換は2~3割は交換している。チーム学年経営のため、子どもが8コマ以上他の教員に見てもらえばよいとしている。

今年の卒業式は保護者が2人は入れるが、教室のテレビ中継はあるか(地域コーディネーター)

テレビ中継はしない。

すべては自己肯定感をもてるということにつながるように学校と連携しながらぱれっとも運営している。授業の中で自己肯定感をもてるということも難しいことだが、保護者としても安心して学校に通わせられるということにつながっていくと思う。(地域代表)

来年度の音楽会と作品展が隔年開催ということだが、子どものことだけでなく職員のことも考えて行事を見直していくことも大切だと感じた。今までやってきたからということではなく、本当に必要なかを考えていくことが必要(学識経験者)

大口台小学校の保護者は玄関先まで子どもを送っている。障害を持つ方との接する機会が多いが、汚い人と扱わずに優しい対応ができてきているのがとてもよい。(地域代表)

今年度文化スポーツクラブで学校を貸し出した中で保育園等から貸してほしいという依頼があった。知らない方には貸さないようにしている。松見保育園の保護者が夏祭りと呼んで運動会を行った。3月には京浜幼稚園の保護者とパステルが連携して100人くらいでゲーム大会をするようだ。銀嶺幼稚園は運動会を行った。午前中だけだが500人だった。もっと参観人数を増やしてほしいという依頼はおじいちゃんおばあちゃんの要望が多い。幼稚園保育園の要望をかなえてあげたい(地域代表)

4 協議

(4) 学校評価アンケート結果報告【児童支援専任】

児童・保護者・教職員にとった。

学習した内容を理解している項目については肯定的な意見が多かった。

学校は工夫して授業を行っている項目について児童の肯定的な回答が多かった。

教員への質問のしやすさは昨年度も課題として挙がっていたが、今年度もあまり高くはなかった。教育相談を行ったり、相談カードを行ったりしているが相談できていない。子どもが遠慮なく相談できるようにしていきたい。

進んで挨拶やよい言葉遣いについては、昨年度同様児童・保護者と教職員の感覚に開きがある。

今年度は「わからない」という項目を設定した。人権教育や情報モラル学習などについて学校の様子が分からないという保護者も多い。

保護者の感覚としてメール配信でプリントの情報を受け取ることが便利と考えているが、子どもがしっかりと持ち帰るということを大切に考えている。大切なプリントに関してはメール配信でお知らせしている。

(5) 学校評価報告書【教務主任】

授業改善のために Google Class Room を活用して情報発信ができた。

予告なし避難訓練ができた。久しぶりのため指導が必要な点もあった。

【質疑応答】

挨拶がこれだけできるというのはなかなかないこと。大口台の子どもはよくできている。見守り隊の方が見てくれることもあるだろう。「わからない」という回答について、20%くらいのももある。質問する事柄については保護者にもしっかりと伝えていく必要があると思う。次年度に向けて検討していく必要がある。(学識経験者)

「わからない」という回答があるが、盲学校の評価でも何をしているのかが分からないので発信してほしいという意見がある。答えやすい形を望んでいる声もある。(学識経験者)

学校評価の道徳の授業の評価が B だが厳しすぎないか。盲学校の先生の指導が、副学籍交流やお店体験、全クラスの授業公開があるにもかかわらず。(学識経験者)

自分たちで評価をするのが難しいが、外部の方から言ってもらえることはありがたい。昨年度は道徳の公開授業研をおこなったが、今年は保護者へ授業公開できた。よって A とする。(教務主任)

地域学校協働活動についてできることは十分やったつもりである。学校に対していろいろな協力を求めるが、他の地域よりも学校と地域のつながりが強いと思う。評価が B だが、A をつけてもらえたらと思う。(岡井)

地域が I 地域なので学校と密接であるので A' でもいい(地域代表)

学校の体制が整っていないと感じていた。エプロン先生などすぐ来てくれるのでありがたい。3か年の1年目であるということもあった。(教務主任)